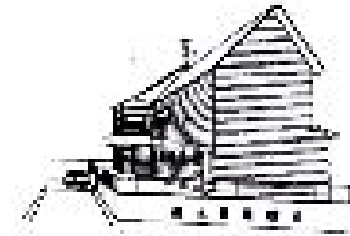


<今朝の聖書から> Mという有名なタレントがこんなコメントを残していました。彼は、芸能人にはよくあることですが、結婚しませんでした。歌手としてのやりがいを目指したのでしょうか。そしてスターと云われるようになったという訳です。ところがある時養子縁組をワイドショーで発表しました。“自分の持っている物（宝石や不動産でしょうか）をゆだねていく人が欲しかった”と云うのです。正直なコメントだと思うのですが“贈る人がいない”と云うのは寂しいことです。持っていないということも寂しいことですが、持っている人が“あげる人がいない”と云うのは、これまた寂しいことです。イエス様はこの簡単な事を私たちに語っておられるのです。先週も“私を愛しているか？（ヨハネ21：17など）”のところでも学びましたように、持っている物を“あげる”こと、今は持っていなくても一緒に努力して“あげる”ことが愛です。私たちの持って生まれた“友情”とは異なります。持って生まれた友情は、目的の達成のための有効性を問題にしますし、いざ見解を異にすると、骨肉の鬭いになってしまうようなものです。先のタレントは、財産の一部すらあげる人がいなかったのです。そして衰えていく自分の歌声や、知名度がなくなっていくことを悲しく思ったことでしょう。イエス様は“互いに愛し合ひましょう（13：34）”ということをして、これが“新しい誠”と語られました。更に、それによって“あなた方は、私の弟子であることを人々に証する”と語られたのです。弟子であるための条件が、なかなか実行できないでいる人々に、律法のように“愛し合わなければならぬ”ではなく、“愛し合うことができる”と語られました。神の栄光が“御子の栄光”であることが決定的な啓示となった瞬間＝ユダが二階家から出ていった時に、こう言われたのです。神の家族である教会に新しく生まれた子供たちもみな、イエスがおいでになる天の領域にまでは随伴することはできない、しかし、“証するあなた方によって”その誠を知り、体験し、イエス様の相続人たる身分を与えられているのです。教会にあって我々はキリストが共にあり、キリストが我々と共にあることを、最高の救いとして、確かになっているのです。レビ記19：18の“隣人を愛しなさい”という言葉が、今に至るまで与えられました。

週報

2010年 4月 25日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト
清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042